

令和5年度 中山小学校学校経営構想

三橋中校区スタンダード

相手に伝わるあいさつ・相手の思いを考えて「聞く」から「聴く」へ

学校の教育目標

豊かな心と確かな学力を身に付け、夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成

めざす子どもの姿

- なか**まを大切にする子ども：互いに認め合い、支え合う子ども
やりぬく子ども：めあてや目標に向かってねばり強く取り組む子ども
まなぶ子ども：将来を展望できる学力をもった子ども

【めざす教師像】

- ◆ 子どもへの愛情をもち、児童理解を深めながら共に学び合う教師
- ・ キャリアに応じた指導力・授業力への向上意識をもった研修参加や学び合い
- ・ 組織の一員としての自覚と協働
- ・ 一人ひとりと真摯な向き合いによる児童理解

【めざす授業像】

- ◆ 「わかった」「できた」を実感する楽しい授業
- ・ 集中して考え、書く（鉛筆の音のみ）
- ・ 生き生きと話す・聞く（響き合う声）
- ・ 安心して学び合う教室環境
（学習規律の徹底と支持的風土）

【重点目標】

- ◎ 気持ちよくあいさつを交わす子どもの育成
- ◎ 書いて考える子どもの育成

【指導の重点】

～仲間づくり～

- ◎ 挨拶（あ：相手を見て い：いつでもどこでも さ：さわやかな笑顔 つ：つなぐ心）で、社会生活（相手を思う行動）の基盤を培う。
- ・ 縦割り掃除や縦割り活動、異学年交流や地域交流等を意図的に実施し、自己有用感・自己肯定感を育み、コミュニケーション力を培う。
- ・ 子どものよさや頑張りを伝える掲示や情報発信を行う。

～学びづくり～

- ◎ 「書いて考える」「考えて書く」→「話して聞いて学び合う」を積み上げ、わかる授業の充実を目指す。
- ・ 目標や課題意識を持たせ、きめ細やかな評価で自信を育み、基礎学力の定着を図る。
- ・ 朝活動や藤っ子タイムで読書・視写・音読
・ 漢字・計算・響く声づくりを継続する。

<生活・友達関係>

【児童の実態】

<学び>

- 素直な子どもが多い。
- 縦割や体験活動による異学年交流の姿がよい。
- 相手を思う言葉遣いやコミュニケーション力
自尊感情の高揚
- 気持ちの良い挨拶
- は・ち・つ・ぼ・なの徹底

- 速く・正しく視写したり、すらすら音読したりする児童が増えた。
- 書き慣れ、書き込みができる児童が増えた。
- 基礎学力の定着、CD層が多い
- 考えを書くこと、しっかり話し合うこと
- 読み深める力（思考力）育成